

や 広報たしる

No. 361

昭和58年9月号

田代町総務課編集

1,550部発行



「知事と村づくりを語る会」

農村の声を反映させ、むらづくりの輪の定着を図る目的で、肝属郡を対象に「知事と村づくりを語る会」が、八月二十三、二十四日行なわれました。

本町では、二十四日副知事一行が、新田地区の圃場整備、井手駄床スプリングラー施設、大原小学校の手づくり学習農園、キヌサヤの試験圃地、花瀬公園、生産物直売所、猪鹿倉の土地利用、共同機械利用の状況を見学され本町の活力あるむらづくりの輪のひろがりに感銘されました。

ひきつづき、猪鹿倉集落センターで、本町の拠点地区の推進役員との意見交換、手づくりの昼食会が行なわれた後、郡内のむらづくり推進協力が集まり「知事と村づくりを語る会」が開催されました。

（写真 大原小学習農園前で
なごやかに交歓される副知事）



この笑顔忘れずに（坊やとおまわりさん握手!!）

交通安全アメ玉作戦
毎年の恒例行事となつてい
る田代町交通安全協会、大根
占警察署合同の「アメ玉作戦」
が八月十八日実施されました。
去る五月二十日にも実施さ
れていますが、夏休みで交通
量も多く、特に県外からの車
が目立っていました。
アメ玉を配りながら呼びか
けられた事は毎年同じですが
いつものことながら、シート
ベルトの未着用、しまい込み
等が見受けられたようです。
しかし、中にはシートベル
トを着用し、手袋をつけて運
転するという運転手の方も見
られ意識の高さを感じさせら
れる面もありました。

健康だより
「病は口から」
食糧豊富な現代、皆や過食
気味の傾向です。内科の病気の
90%以上は、口から入って
来るとも言われます。高血圧
便秘、神経痛、肥満、心臓病
胃腸病、ときにはガンさえも
暴飲暴食、過食、偏食、不摂
生、そして公害食品。今こそ

健康だより

田代町駐在員の異動
八月二十三日付の定期異動
により中野文男巡査が大根占
警察署刑事課に転動になりま
した。わずか一年間の駐在署
勤務でしたが、田代町の治安
維持のため御苦労いただきま
した。今後更に御活躍される
ことを期待します。
後任には鹿兒島西署より浦
島一生巡査が着任されます。

交通安全協会、警察署の
皆さんは交通事故や違反を少
しでも減らせたいと願いつつ
取り組んでおられますが、交
通事故を起こすも起こさない
も皆さん一人一人の自覚一つ
です。交通事故の恐しさは今
さら言うまでもないことで
が、万一の事態を考え、常に
安全運転を心がけましょう。

- 毎日三度三度欠かせない食生
活を見直してみましよう。
- ① 食は生命なり、感謝なく
てはいただけぬ。
 - ② つばは良薬、胃の薬、か
めばかむほどききめあり（
一口50回かみくだこう。）
 - ③ 腹は八分目、胃の門限は
九時である。
 - ④ 雑穀は草の実、野菜は根
と葉、海藻は海の草、草を
楽しむと書いて薬と言う。
 - ⑤ 小豆、大豆は肉におとら
ず命ながらえ、病なし。
 - ⑥ 品物の山で病となる。こ
れ癌なり、白米は粕とも書
く。
 - ⑦ ともに読んで字の如し。
文明病は砂糖漬、甘い、
甘え、甘やかす。これ文明
の遺産なり。
 - ⑧ 塩がなくては生きられぬ。
だが血圧も、高い低い、
塩加減。
 - ⑨ 農薬は農薬の略字なり。
虫はころりと、人間はじわ
っと殺される。
 - ⑩ 親に似た亀の子、口のい
やささが遺伝する。
- やはり食生活の原則は、
① 手作り、無添加食品、野
菜は自家菜園、堆肥で無農
薬。
② 砂糖抜き。（どうしても

人口のうごき				人口のうごき	
				前月との増減	人口の増減
基本台帳人口現在				58年8月1日現在	58年8月1日現在
男女計				2,115人	3人
世帯数				2,302人	5人
				4,417人	8人
				1,470戸	0戸

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

- 必要な時は黒砂糖）
③ 麦、アワ、アズキ、ヒエ
などの雑穀を多用。
④ 海藻、人参などの緑の野
菜をたくさん。
⑤ 豆類は毎日、肉、魚など
の酸性食品はほどほどに。
⑥ よくかんで規則正しい、
バランスのとれた食事。
予防にまさるものはないま
せん。お金をかせぐ経済も大
切ですが病気になるないでお
金を出さない事も本場の経済
につながるのではないでしょ
うか。もう一度、ゆっくり健
康について考えてみて下さい。

今一度考えてみよう

肝属南部開発事業

南隅の、そして田代町の農
業振興のために進められてい
る「肝属南部地区国営総合農
地開発事業」は、昭和五十四
年度から土地調査、受益予定
者の意向調査を始めたものの
同意が得られず、いまだ事業
着工ができない状況です。同
意が得られない主な理由は、
「負担金が高い」、「山林と
して残したい」、「農業後継
者がいない」ですが、町とし
ては、将来の農業経営安定の
ためには、ぜひとも成功させ
たいということで、あらゆる

「負担金が高い」という理
由で同意が得られなかった受
益者には、負担金がこのよう
に軽減されたことを、「山林
として残したい」という希望
の受益者には、交換地をあっ
せんすることを、また「後継
者がいない」という理由の受
益者には、町内の中核農家へ
農用地利用増進事業による有
利な農地の賃貸借の制度があ
ることなどを説明することに
より事業参加の同意を求める
ことにします。
本町においては、既に十団

地（長尾・辺志切・中村上原
川原・折小野・永山・原沢ノ
後・中尾・立神・盤山）を事
業推進の地区に決めておりま
すが、10アール当たりの負担
金が大幅に軽減されたことか
ら、再度パンフレットの配布
や意向調査を行なうと同時に
肝属南部開発推進員が、受益
者のみなさんのお宅に同意取
得のために伺いますので
よろしく願います。
受益者の皆さん、ここでも
う一度考えてみてください。
農業は田代町の基幹産業です。
農業の発展なくして町の発展
はありません。将来に目を向
けて農地を拡大し、農業基盤
を確立しておきましょう。
そのためには、肝属南部開
発事業はぜひとも成功させたい
事業なのです。

区 分	負 担 額		備 考
	10アール当り負担額	10アール当り年償還額 (償還利息5%を含む)	
農 地 開 発 事 業 (山林・原野の場合)	今まで説明 した負担額 289,000 円/反	今まで説明 した負担額 32,700 円/反/年	据置期間 3ケ年
	軽減した場合 の負担額 79,000 円/反	軽減した場合 の負担額 8,900 円/反/年	支払い期間 12ケ年
土 地 改 良 事 業 (畑 の 場 合)	今まで説明 した負担額 411,000 円/反	今まで説明 した負担額 39,700 円/反/年	据置期間 2ケ年
	軽減した場合 の負担額 195,000 円/反	軽減した場合 の負担金 18,800 円/反/年	支払い期間 15ケ年

注）10アール当り負担額は、昭和58年度単価です。

町子ども会育成連絡協議会が主催し、7月26、27日の二日間にかけて、花瀬キャンプ

1. 青少年団体リーダー研修



涼しい木陰で学習

特集 見る気・聞く気・やる気の貴重な体験

～青少年健全育成関連事業成果上がる～

長期休業中に青少年の健全育成を目的とした数々の関連事業が実施されました。普段の学校生活では味わうことのできない体験学習を主目的とし、異年令間の相互扶助、同年令間の仲間づくりとみがき合いのため、それぞれの関係団体が趣向をこらして取り組みました。

その学習の成果が子どもたちの感想の中に表われています。

長期休業中に青少年の健全育成を目的とした数々の関連事業が実施されました。普段の学校生活では味わうことのできない体験学習を主目的とし、異年令間の相互扶助、同年令間の仲間づくりとみがき合いのため、それぞれの関係団体が趣向をこらして取り組みました。

その学習の成果が子どもたちの感想の中に表われています。

町子連の主催で8月9・10日の二日間中学校二年生全員を対象として、霧島青年の家で実施されました。



高千穂の峰めざして出発／



黒木所長の講話を熱心に聞く／

2. 青少年健全育成リーダーキャンプ

くことを目的とし、野外活動を中心に団体生活の規律の学習や地域子ども会でのリーダーとしての必要なことがらを学習しました。特に、最後に挑戦した高千穂の峰登山は、困難にたえる精神力と体力の必要性を体験しました。

子どもたちの感想から

。講話の中で行動をおこす前に良いか悪いかということを考えて行動するという所や先生と生徒の立場の違いをはつきりさせるということを学んだ。

。わたしは努力についての事をもっと心に残り、高千穂登山のとき実際に体験したような気がしました。

。いろいろな先生の話を聞いて教えられる良い話と良い事を学び自分の自分を見つけることができた。

。わたしたちの地域では、めったに子ども会などを開かず行事など他に比べると少ないからみんな集まって、つどいやふれあいをもう少し多くしていきたい。

。集団活動における自分の立場。あるいは与えられた自分の任務を確実に果たさなければならぬことを改めて認識できた。

3. 県少年の船へ参加

昭和58年度県少年の船に田代町から11名の青少年が参加しました。7月21日から26日の5泊6日の旅で、船中研修岐阜県との交流を通して自立自興の精神を学びました。

水流秀作君の感想より

私は班長という役割を与えられ、やや緊張した気持ちで5泊6日の研修に出かけました。慣れない団体生活にも次第になじみ、10名の弟のような中高生と班別研修に熱心に取り組んだ。

海津町で薩摩義士の治水工事の様子を見聞きし、我鹿児島を見直し、郷土の先輩たちに負けないように頑張ろうとする気持ちが高ぶってくるのを感じました。

岐阜県との交流で活発な意見交換をしている子どもたちを見て、頼もしく思い、私も青年団長として団活動を活発にし、魅力あるふるさとにするため頑張っていこうと決心しました。そのためには、団員の確保と研修が必要だと考えます。

さいごに、このような意義ある研修に参加させていただき感謝致します。誠にありがとうございました。

教育だより

親子のふれあい

大原小学校

今年度のわが校のPTAの目標は、「親と子のふれ合い」が、中心テーマとなっている。そこで、夏休みに入ると、学校や学級単位で、様々なふれ合い活動が計画、実行された。

八月五日、六年生が花瀬公園一日遠足を実施し、児童十三名、父兄九名が参加し、すいか割りや流水プールで水泳を楽しんだり、親子で一緒に昼食を作り、舌鼓を打った。

八月七日には、四年生が花瀬川で、一日魚つりを楽しみ、服を水にぬらしたり、すべったりしながら、自慢の腕と竿を披露し、一日楽しくすごした。

また、八月八日～九日には吉田町の青少年研修センターで、緑の少年団交流集会が開かれ、山田栄一さん引率の下、五年生、十名が参加した。

老人クラブとの交流も盛んで、八月十一日には、鶴戸野のゲートボール場で、老人クラブの皆さんと児童のふれ合いの集いも開かれた。

子供達は、慣れないスタイルックとボールに悪戦苦闘し、老人クラブの皆さんの笑いを誘っていた。

三年生では、本校の校庭と体育館を利用して、キャンプが開かれた。

八月十二日～十三日、お盆を目前に控えて、児童七名が各自で当番を分担し、夕食の準備や後片づけなどに大忙しだった。

父兄の参加は夜だけで、十才にも満たないわが子が、どんな様子なのか、差し入れを手に、学校へいそいそと向かう姿も見られた。

子供達は、初めて自分達で作ったカレーライスや味噌汁の味を、そして、蚊に喰われながら、みんなで一語に寝た体育館を決して忘れることなく、良い思い出を作ったことだろう。

八月十九日午前六時、児童四十五名、父母二十四名が参加して、本校校庭で早朝なわ跳び大会が、PTA保体部の主催で行なわれた。

山返達者体力作り運動の一環として、この日のために毎日頑張ってきた子供達や、子供と一緒に汗を流して継続努力してきた。腕(なわ?)自

慢の親が、一回旋一跳躍の連続跳びに挑戦し、真夏のひと朝、すがすがしい汗をかき、親子のふれ合いを深めた。

結果は次の通り

- (低学年の部)
- 一位 田畑真美江
- 二位 永嶺一也
- 三位 町 忠由
- (中学年の部)
- 一位 早瀬正司
- 二位 東 英樹
- 三位 神田千春
- (高学年の部)
- 一位 老崎和昭
- 二位 鮎川 靖
- 三位 上ノ原由加里
- (親の部)
- 一位 有馬純照
- 二位 町 喜久男
- 三位 永嶺 剛

みんな、とてもよくがんばりました。

いい汗かいた!!

学林地下払い

田代中学校

夏休みに入った七月二十四日、日曜日に荒西山中腹にある学林地の下払いが行われました。

この日の参加者は、学校職員、PTAと三年生六十人です。生徒参加は五年ぶり。

男子生徒は、ナタとノコ、女子生徒は、カマを手でPTAと合わせて、二百人余りが午前八時半に現地集合しました。

男子は、木によじ登って枝打ち、女子は、カマなどの下払いに汗を流し、昼食をはさんで午後四時まで五ヘクタールを済ませました。

生徒からは、「いい思い出になった」「冬にもう一度やりたい」などの声がきかれ、日頃、こういう作業を経験したことのない生徒たちには、貴重な勤労学習の一日でした。

栽培学習で自然を見直そう。

最近では、生徒の生活経験の中で、土にふれることがなく、また、栽培の喜びを知らないで、緑を見直そう。環境を大切にしようという声が出ています。

本校も恵まれた環境の中で、生徒自ら手をおろして育生する栽培学習を三年生が、技術家庭科の時間にしています。

男女別にグループ分けし、まず、土おこしから始めました。

今年は、町から学校近くの土地、一反八畝を借り、男子生徒と技術科教諭が、荒地を

一生懸命、耕やし、広々とした畑に仕上げました。

そして、各家からあらゆる種類の種を持ち寄り、お互い交換しあったりして播種し、生育状況を観察しながら手入れしていきましました。

収穫期は、夏休みになりましたが、草とりや水やりが中心で、中には、枯らした苗もありましたが、土に、作物に、自然に愛着をもつ心が培われてきました。

生徒の栽培日誌より

。レタスが全然大きくならない。くやしいくらいだ。

この日は、除草と間引きに力を入れてやった。草は大部分なくなったものの、竹が次から次へとできてどうしようもない。

。この日は、休みであったが、畑が心配だったので友だちといてみた。朝だったので作物が生きていた。

早く大きくなってくれ。

。全体的に、一学期は、管理が悪かった。しかし、夏休みには一生懸命、他の班に負けないう頑張ろうと思う。初めて自分自身で栽培をしてみても父さんたちは、とても苦労しているんだなと思った。

青少年ふるさと大会 大盛會一六〇名 参加

町内出身の高校生たち160名
余りが一堂に会し、青少年ふ
るさと大会を開催しました。

中学校卒業以来それぞれの
進学先で学んでいる高校生た
ちが集まり、日ごろ疎遠にな
りがちな仲間つき合い進めな
がら、高校生としての生き方
学び方を考える大会となりま
した。



早朝清掃活動風景

当日は、早朝より各地区毎
に神社等の清掃活動をし、学
生会総会、ふるさと講演会、
球技大会へと進んだ。

ふるさと講演会では、講師
として剣道日本一になられた
末野榮二先生を招き、「武道
を通して我が人生を語る」と

題して講演をしていただきま
した。その中で、自分と剣道
との出会い、練習、試合を通
して得た人生観を具体的に話
され、高校生たちに感銘を与
えてくださいました。

その後、お母さん方の手作
りのおにぎりで昼食を済ませ
午後から球技大会へ進みまし
た。今年から五地区（大原、
花瀬、川原、麓、上部）対抗
で、バレーボール、バトミン
トン、卓球の三種目で総合優



総合優勝大原チーム

勝を争いました。
試合の進行を高校生自身で
進め、なごやかな雰囲気の中
で終了いたしました。

△球技大会の結果▽
優勝 大原地区学生会
準優勝 上部地区学生会
三位 川原地区学生会

四位 花瀬地区学生会
五位 麓地区学生会
薩摩町高校生と交流

8月10日、高校生クラブ発
祥の地薩摩町中津川の高校生
と交流会を実施しました。各
地区の役員、24名は行事計画や
役員組織等について意見交換
をしました。今後の活動が期
待されます。

子ども会親子球技大会結果
8月2日、ソフトボール23
チーム、ミニバレーボール21



ソフトボール優勝 東中郡子ども会

チーム参加して行われた。

△田代校区▽
ソフトボール
優勝 東中郡子ども会
準優勝 表木子ども会
三位 大根田子ども会

〇ミニバレーボール
岩崎子ども会

優勝 平石子ども会
準優勝 上原子ども会
三位 大根田子ども会
岩崎子ども会
△大原校区▽
ソフトボール
優勝 東大原子ども会
準優勝 新田子ども会
〇ミニバレーボール
優勝 鶴戸野・久木野
準優勝 新田子ども会

スポーツ教室生募集中

左記の通りスポーツ教室を
開設します。募集要項をよく
ご覧の上9月17日まで町教育
委員会へ申込んでください。
定員に達し次第締切ります
ので早目にお願ひします。電
話で結構です。

教室名	内容	対象	募集人員	期	時間	場所	回数	講師
軟式テニ	ス教室	壮年男女	二〇名	九月下旬	午後八時	田代小体育館	週二回 (延十回)	中原操
健康づく	り教室	ス、体操	二〇名	九月下旬	午後八時	大原小体育館	週二回 (延十回)	林絹代

連絡先 TEL 二五二(五五)

町民レクリエーションの集い
8月19日、町民レクレエー
ションの集いを実施しました。
新しいレクレエーションス
ポーツの紹介と自分の体力年
齢を測定する体力テストを実
施しました。

新レク・スポーツとして、
インディアカとカントリーゴ
ルフ等が紹介されて、喜んで
ゲームに興じていました。
体力テストは、参加者の皆
さんが一生けん命頑張る、20
代の体力年齢が出て喜んでい
る方も見られました。

今回は参加者が20名と少し
さびしいでしたが、自分の健
康は自分で守っていく。その
ためには、自分の健康状態、
体力等について知っていなけ
ればならない。その知る機会
が体力テストですので、次の
機会には是非多数の方が参加
くださるようお願いいたします。

町スポーツ少年団交歓大会

8月23日町内四つのスポー
ツ少年団が、交歓大会を開催
しました。

各団の活動紹介など済ませて
体力テストを実施しました。
自分の体力の状況を知り、今
後の活感に役立てるためです。
午後から交歓種目カントリ
ーゴルフに汗を流しました。